allcinema

エレニの旅（2004）

TRILOGIA I: TO LIVADI POU DAKRYZEI

メディア 映画
ジャンル ドラマ
製作国 フランス／ギリシャ／イタリア
色彩 Color
時間 170分
初公開日 2005/04/29
公開情報 フランス映画社

【キャッチコピー】
ギリシャの孤児エレニは、アレクシスとささやかな約束をした。
地に降る涙のように…美しい旅への出発。

【解説】
「旅芸人の記録」「永遠と一日」の巨匠テオ・アンゲロプロス監督が、ロシア革命で両親を失ったギリシャ難民のヒロイン、エレニが辿る過酷な運命を、ギリシャ現代史に重ね、雄大な映像美で綴る一大叙事詩。当初、20世紀全体を３部構成になった１本の長編で描く構想だったが、内容が膨らんだため、３本のそれぞれ独立した映画として製作されることになった。本作はその１作目。
1919年頃。ロシア革命によってオデッサから追われ、難民となったギリシャ人の一群が東を目指して歩いている。少女エレニはオデッサで両親を失った孤児。彼女は一行を率いていたリーダー格の男スピロスに拾われ、家族の一員として育てられる。およそ10年後、スピロスたちは新たな土地に＜ニューオデッサ＞という村を築いていた。少女エレニはスピロスの息子アレクシスと恋に落ち、妊娠する。スピロスが知ればただでは済まない。エレニは、スピロスの妻ダナエの計らいで、秘かに出産し、生まれた双子を裕福な夫婦の養女に出すのだった。数年後、ダナエが亡くなると、スピロスは成長したエレニを自分の後妻に迎えようとするが…。

【クレジット】

監督	テオ・アンゲロプロス	Theo Angelopoulos	
製作	テオ・アンゲロプロス	Theo Angelopoulos	
	フィービー・エコノモプロス	Phoebe Economopoulos	
	アメディオ・パガーニ	Amedeo Pagani	
脚本	テオ・アンゲロプロス	Theo Angelopoulos	
	トニーノ・グエッラ	Tonino Guerra	
	ペトロス・マルカリス	Petros Markaris	
	ジョルジオ・シルヴァーニ	Giorgio Silvagni	
撮影	アンドレアス・シナノス	Andreas Sinanos	
美術	ヨルゴス・パッツァス	Giorgos Patsas	
	コスタス・ディミトリアディス	Costas Dimitriadis	
音楽	エレニ・カラインドロウ	Eleni Karaindrou	
出演	アレクサンドラ・アイディニ	Alexandra Aidini	エレニ
	ニコス・プルサディニス	Nikos Poursadinis	アレクシス
	ヴァシリス・コロヴォス	Vassilis Kolovos	スピロス
	ヨルゴス・アルメニス	Giorgos Armenis	ニコス
	エヴァ・コタマニドゥ	Eva Kotamanidou	カッサンドラ

このデータベースのデータおよび解説文等の権利はすべて株式会社スティングレイが所有しています 。
データ及び解説文、画像等の無断転用を一切禁じます。 Copyright (C) 2026 Stingray. All Rights Reserved.

ミハリス・ヤナトス	Michalis Yannatos
トゥーラ・スタトプロウ	Toula Stathopoulou

このデータベースのデータおよび解説文等の権利はすべて株式会社スティングレイが所有しています 。
データ及び解説文、画像等の無断転用を一切禁じます。 Copyright (C) 2026 Stingray. All Rights Reserved.